



鉢伏での思い出

(1日目昼の部) 6月1日 台風が近づく中での出発、現地の天気は??

何日か前からずっと雨予報でしたが、良い方向に予報が外れ、晴天の中、鉢伏に出発。現地の天気も、晴天。



気持ちいい宿泊学習のスタートがきれました。道路も大きな混雑なく、ほぼほぼ時間通りに到着し、宿舎前の広場で昼食。ゆったりした空間で、みんなで楽しくご飯をたべました。施設の方に来ていただいて、入館式。何とか夕方まで天気が持ってくれるよう祈るばかりでした。

1日目の昼の体験活動。まずは、アルプスアドベンチャー。なれないハーネスに戸惑いながらも、安全のため、しっかり装着。インストラクターの方々に最終チェックをしてもらい森の中へ。中に入ると、吊り橋、綱渡り、ジップラインなど頭上に広がるアトラクションに、最初はみんなも恐々。説明を受けて、初級・中級・上級のコースに分かれて体験開始。体験が始まると、みんな迷わず体験場所へ。最初は中級が一番人気。そのあとは、思っている以上に多くの子が上級コースにチャレンジ。10m以上の高さのロープもすいすい渡っていく姿にびっくり。初めの不安が嘘のように時間ぎりぎりまで楽しんでいました。



次は、場所を移して、ニジマスつかみ。釣りはしたことはあっても、泳いでいる魚をつかむのは初めての体験。インストラクターさんからコツは教えてもらったけれど、逃げる魚がつかめずにあたふたとする様子も。そんな中、新たな才能が開花し、水に手を入れたら、手の中に魚が!という子も。なれない体験に戸惑いながらも、ひとり一匹を目標にみんなで頑張りました。少しずつ、冷たい風が吹いてきたこともあり、捕まえた魚と一緒に宿舎横のテントスペースに移動。施設の人に焼いてもらったニジマスをみんなでおいしくいただきました。

このあたりから、天候も怪しくなってきた、夜のレクについては、屋内用雨プログラムに変更。行く前は全日雨予報だったことを考えたら、よかったほうではないかと思えます。

(1日目夜の部) 6月1日 全体レクにキャンドルファイヤー

夜のレク1つ目は、プロジェクトNによる3つの取組。「私は誰でしょう」「ファイブリーグ」「有志による発表」です。私は誰でしょうでは、みんな知っているあの有名なキャラクターの名前を当てるクイズを。ファイブリーグでは、プロジェクトのだすヒントから想像できる言葉をチームで力を合わせて正解へ。有志による発表では、みんなを盛り上げるために、漫談、手品、ダンスにコント。最高に盛り上がりました。



場所を体育館に移して、次はキャンプファイヤープロジェクトによるキャンドルファイヤーとレクリエーション。51期生の主張では、チームの想いや、個人的な切実な想いまで、様々な中学生の葛藤を言葉にしてくれました。その後、突然部屋の電気が消え、火の神降臨。みんなに火を分け与えてくれて、キャンドルに点火。浮かび上がった文字「心はひとつ」を静かに眺めて、イベント終了。一人だけ、火の神様に会えなかったという子もいましたが、それも一興。



(2日目) 6月2日 体育レクに、調理実習

2日目は、朝から大雨。飯盒炊爨は難しいと判断し、プログラム変更をするところからのスタート。そんな中でも、子どもたちは前向きに。時間変更も含めて、自分たちで考えて行動する姿に感動。体育館レクでは、変則ドッジボールに、6教科クイズリレー。外野なしの変則ドッジでは、果敢に攻める子、最前線にでながらも最後まで避けきる子など、ひとりひとりが活躍する場面がいっぱいありました。6教科クイズリレーでは、答えが難しい問題もあり苦戦する子も。ボールを落とさないようにみんなで力を合わせて運び、最後まで全力でチャレンジしてくれました。



レクの後には、中学生になって、初めての調理実習。飯盒炊爨はできなかったけど、みんなで一緒に作って食べたハヤシライスは最高の味だったのではないのでしょうか。みんなの頑張りにこたえてくれたのか、帰りのバス乗車、サービスエリア、学校到着時も含め、小雨程度で帰ってこれたのも、空からのご褒美だったのではないのでしょうか。

2日間、天候不良で予定変更もある中で、全員前向きに頑張ってくれてありがとう。また、各プロジェクトメンバーも準備からの長い時間頑張ってくれてありがとう。最高の2日間となりました。